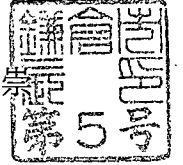


鎌 総 第 2853 号

令和6年(2024年)2月2日

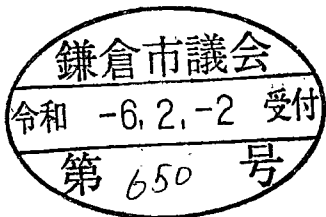
鎌倉市議会議長 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2243)

議会受付番号	文書質問第 10 号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (まちづくり計画部都市計画課)

## 文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項の規定に基づく文書質問第 1 号の質問について、次のとおり答弁いたします。

### 1 質問の内容

文書質問第 7 号の質問では、江ノ島電鉄が安全性を向上した新信号システムの導入に伴い、長谷駅で駅構内踏切を廃止して、2 月 17 日初電から行先別の改札を設置して運用するにあたり、長谷駅近隣は県道の歩行者空間の環境は非常に悪く、この変更で藤沢方面行きの電車から降りて長谷寺・大仏に行く人達は、全て脇の踏切の狭い歩行者通路を通ることになり、降りる人の数が多い時は、県道上の踏切内を車道に大きくはみ出してあることになる。

また坂ノ下方面に行く人達は改札前の横断歩道を渡っていたが、今度は横断歩道の無い踏切の脇を反対側に渡る事になる。更に、坂ノ下側からと、長谷寺、大仏の帰りに藤沢方面行きに乗る方々は反対方向から駅に入って来る訳で、踏切付近の県道は大混乱になり、歩行者の安全確保が出来なくなると共に、歩行者をよける為に車は踏切上で止まることが頻繁に発生する事になり非常に危険である。

この事について、鎌倉市としてどのように考えているのか。また神奈川県警、藤沢土木事務所とともに、江ノ電側と問題点について協議すべきであると考えているかがか。

### 2 質問の理由

2 月 17 日から変更になるので時間的猶予がなく緊急性が高いため質問する。

### 3 答弁を求めるもの

市長

### 4 答弁

江ノ島電鉄(株)は、安全性向上のために、新信号システム CTC (列車集中制御装置) を導入することとしており、これに伴い長谷駅構内踏切を廃止すると令和 6 年 (2024 年) 1 月 11 日にプレス・リリースしています。

廃止について江ノ島電鉄(株)に確認したところ、「これまで同駅の構内踏切は一部手動で運用していたが、CTC 装置では制御対象に含まれておらず、安全面を考慮した点、及びホーム長 (上下列車が行違いするために車両の長さや安全確保を考慮した必要な距離) に余裕がなく、車両が駅構内踏切直近に停止しており、上り列車走行時、旅客との触車事故防止のため、構内踏切

を廃止することとした。」とのことでした。

なお、廃止に合わせ江ノ島方面のホーム出入口を改修し、階段を設置するとのことでした。

ご指摘の歩行者の安全性については、江ノ島側ホーム改札から県道まで約15m市道あることや県道大仏方面踏切部に歩行者用通路があり、かつ踏切部では車両は一時停止をしなければならぬことから、江ノ電としては確保できると考えているとのことでしたが、市から改めて構内踏切の廃止に伴い安全性が低下することのないよう江ノ島電鉄(株)に要請するとともに、神奈川県警及び藤沢土木事務所と協議を行うよう要請してまいります。